

4つの接種方式で順調に推進 新型コロナウイルスワクチン接種

うみまち
HOT TOPICS

新型コロナウイルス感染症対策の切り札として進められているワクチン接種は、5月から高齢者を対象に進められてきました。

初期段階ではコールセンターに予約が殺到し、電話がつかない等、不安な面もありました。

改善を重ね、町内の医師をはじめ医療従事者の方々にご協力をいただきながら、これまでスムーズにワ

クチン接種が進められています。

宇美町のワクチン接種は、主に4つの方法を採用しており、医師・看護師・運営スタッフ・推進本部職員がガッチリとスクラムを組んで運営されています。

議会としても側面からワクチン接種をしっかりと支えてまいります。

個別接種

全体の約65%を占める かかりつけ医で安心接種

宇美町医師会のご協力により、町内11の医療機関で実施されています。

かかりつけ医と当日の健康状態やアレルギーなどを相談しながら、安心感を持って接種できることが持ち味の接種方法です。

個別接種できる医療機関

- ・いりえ小児科医院
- ・おかべ小児科クリニック
- ・岡部病院
- ・おがわクリニック
- ・加来循環器科内科医院
- ・粕屋南病院
- ・神武医院
- ・こやま内科クリニック
- ・中川整形外科クリニック
- ・中西内科クリニック
- ・まえた脳神経外科
(五十音順)

高齢者施設に出向いて実施 施設接種

高齢者施設でのクラスター発生が懸念されている中で、宇美町では高齢者施設に医師や看護師、運営スタッフの計9名程が直接出向いて接種を行っています。

入所者とともに、施設スタッフも優先接種できることが特徴で、クラスター抑制に大きな効果が期待できます。



集団接種

クリニック方式 宇美南町民センター会場

待合所で名前を呼ばれてから別室で予診と接種を受ける接種者移動型の方法です。(クリニック方式)

かかりつけ医で追いつかない接種を補完する役割で実施されています。



高速大名行列方式 住民福祉センター会場

高齢者は座ったままで、医師や看護師が移動してワクチンを接種しています。

特徴は何とんでもその接種スピードで、通常の接種と比べて8~10倍の方に接種できます。

多くのメディアに取り上げられ、全国の自治体をはじめ、台湾でも「宇美町方式」の名前で、採用されています。

